



中学校教育の
これまでとこれから

中学校教育60年間の歩み

小誌は、昭和54年に創刊した「進研ニュース」(「VIEW21」の前身)の時代から数えて、今号で300号となる。その特別企画として、新学制発足から今日まで約60年間の中学校教育の歩みを、図表と写真で振り返る。

*参考文献等はP.44をご参照ください

戦後復興期

- 教育基本法・学校教育法公布
- 新制高等学校発足
- 新制高等学校発足
- 学習指導要領(試案)発表

● 学校給食法公布

● 学習指導要領 告示「系統性の重視」



戦後すぐの学級編制基準は1学級当たり50人だった(写真は昭和33年の授業風景)

高度成長期

● 学級編制の標準を50人から45人に引き下げ

● 学習指導要領 告示「教育内容の現代化」

● クラブ活動必修化

● 大学・短大進学率が2割を超える

● 大学・短大進学率が3割を超える

● 教頭職の法制化

● 主任制度の導入

● 学習指導要領 告示「ゆとりと充実」

● 学級編制の標準を45人から40人に引き下げ



昭和54年「進研ニュース」創刊



配付物やテストは、すべてガリ版(騰写版)で印刷していた

安定成長期

● 臨時教育審議会(臨教審)設置

● 教育公務員特例法一部改正(初任者研修の制度化)

● 学習指導要領 告示「新しい学力観」

● 中教審答申「生涯学習の基盤整備について」

● 中教審答申「新しい時代に対応する教育の諸制度の改革について」

● 学校週五日制(月1回)

● 平成15年「VIEW21」リニューアル

● 学校週五日制(月2回)

● 中教審答申「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」(第1次答申)

● 中教審答申「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」(第2次答申)

● 学習指導要領 告示「生きる力」

● 必修クラブ活動の廃止

● 中高一貫教育の制度化



低成長期

● 教育改革国民会議「教育改革国民会議報告」教育を変える17の提案

● 21世紀教育新生プラン(レインボープラン)

● 確かな学力の向上のための2002アピール「学びのすすめ」

● OECD生徒の学習到達度調査(PISA)2003(数学的リテラシー)

● 国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)2003

● 教育基本法改正

● OECD生徒の学習到達度調査(PISA)2006(科学的リテラシー)

● 教育三法(学校教育法、教育職員免許法及び教育公務員特例法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律)改正

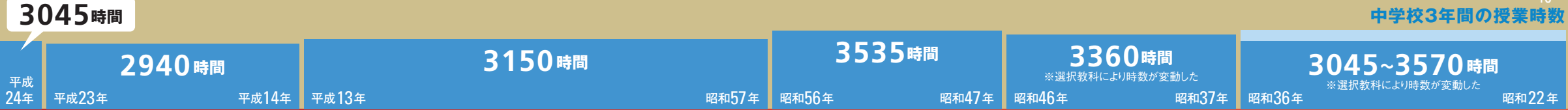
● 学習指導要領 告示「生きる力」

● 国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)2007結果発表

高校進学率



中学校3年間の授業時数



平成10年、携帯電話・PHSの普及率が3割を超える



平成以降、コンビニエンスストアが急増。平成4年に2万店を超えた



昭和58年発売「ファミコン」は流行語になるほどの社会現象になった



「外食元年」とも言われる昭和45年ごろから、外食産業が急速に発展した



昭和39年は、東海道新幹線開業と東京オリンピック開催に日本中が沸いた